

令和7年9月26日

SSH 生徒研究発表会

# 土成丸山古墳 出土埴輪の検討

— 表採遺物産地比定の試み —



徳島県立脇町高等学校

ソノダ

ハイネ

園田 映音

「古墳の墳丘上には埴輪が並べられ、斜面は葺石でおおわれ、～略～埴輪は、前期には円筒埴輪や家形埴輪、盾・鞆・蓋などの器財埴輪が用いられた。後期には、人物埴輪・動物埴輪などの形象埴輪がさかんに用いられるようになる。…」 『山川出版社 詳説 日本史』

「野見宿禰進日。夫君王陵墓。埋立生人。是不良也。～略～仍號是土物謂埴輪。…」 『日本書紀』卷六 垂仁天皇32年



土師氏の祖、野見宿禰を称える為の創作話。実際は、弥生後期の墳丘墓にたてた特殊器台を起源とし円筒埴輪が誕生。5世紀後半になりようやく人物埴輪が登場する。

## 〈研究動機〉

令和6年に土成丸山古墳に於いて11の埴輪片を表採。(現 阿波市教育委員会 蔵)



同じ古墳の埴輪にも関わらず色調が異なっていた為、埴輪の製造場所に関心を持ち産地の比定を試みた。

## 〈土成丸山古墳 について〉

墳形 円墳(2段築盛)

築造時期 5世紀中葉

墳丘直径 40m

墳丘高 6.5m

周濠幅 14m

埋葬主体 箱式石棺

出土遺物 埴輪（円筒、朝顔形、家形、蓋形、甲冑型）

所在地 阿波市土成町高尾字熊の庄  
平野部

県最大級の円墳で平成23年には徳島県指定史跡に指定された。



箱式石棺

# I.はじめに

〈土成丸

墳形

築造時期

墳丘直径

墳丘高

周濠幅

埋葬主体

出土遺物

所在地

県最大級

系譜	吉野川 下流域	吉野川 河口域	園瀬川	鮎喰川	勝浦川	丸亀 平野
AD 375	I 期 韓崇山 2 ● 愛宕山 (64) ●	宝雲寺 (47) ●	巽山 ○	菅我氏神社 2 ■ 美谷 1 (50) ● 清成 ●		
385	II 期	大代 1 (54) ● 大代 2 ●	鶴島山 ●	山ノ神 1 (56) ●	マンジョ塚 2 ●	
400	III 期				笠野丸山 (118) ●	
430	IV 期 土成丸山 (40) ● 韓崇山 1 ●	厄塚 (37) ●	恵聖山 1 ●		天王の森 ○	津頭東 (35) ● 城山 1 ● 城山 2 ●

配布資料 7 頁 (表 5) 参照

## Ⅱ. 表採遺物について

① 胴部



② 胴部



③ 胴部



④ 胴部



⑥ 不明



### Aグループ

器種：円筒埴輪

色調：淡灰白色（ベージュ）

混和材：石英 長石 黒雲母

## Bグループ

器種：円筒埴輪

色調：黄褐色

混和材：チャート 花崗岩  
赤色斑粒

⑤ 胴部



## II. 表採遺物について

⑦ 家形埴輪 基部



⑧ 蓋形埴輪？



⑨ 不明



### Cグループ

器種：形象埴輪

色調：赤褐色

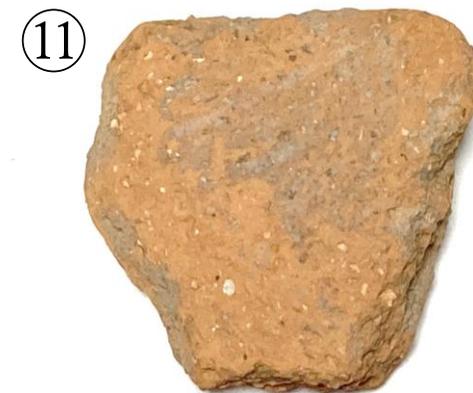
混和材：石英 長石

## その他

器種：不明

色調：黄橙色

混和材：石英 長石



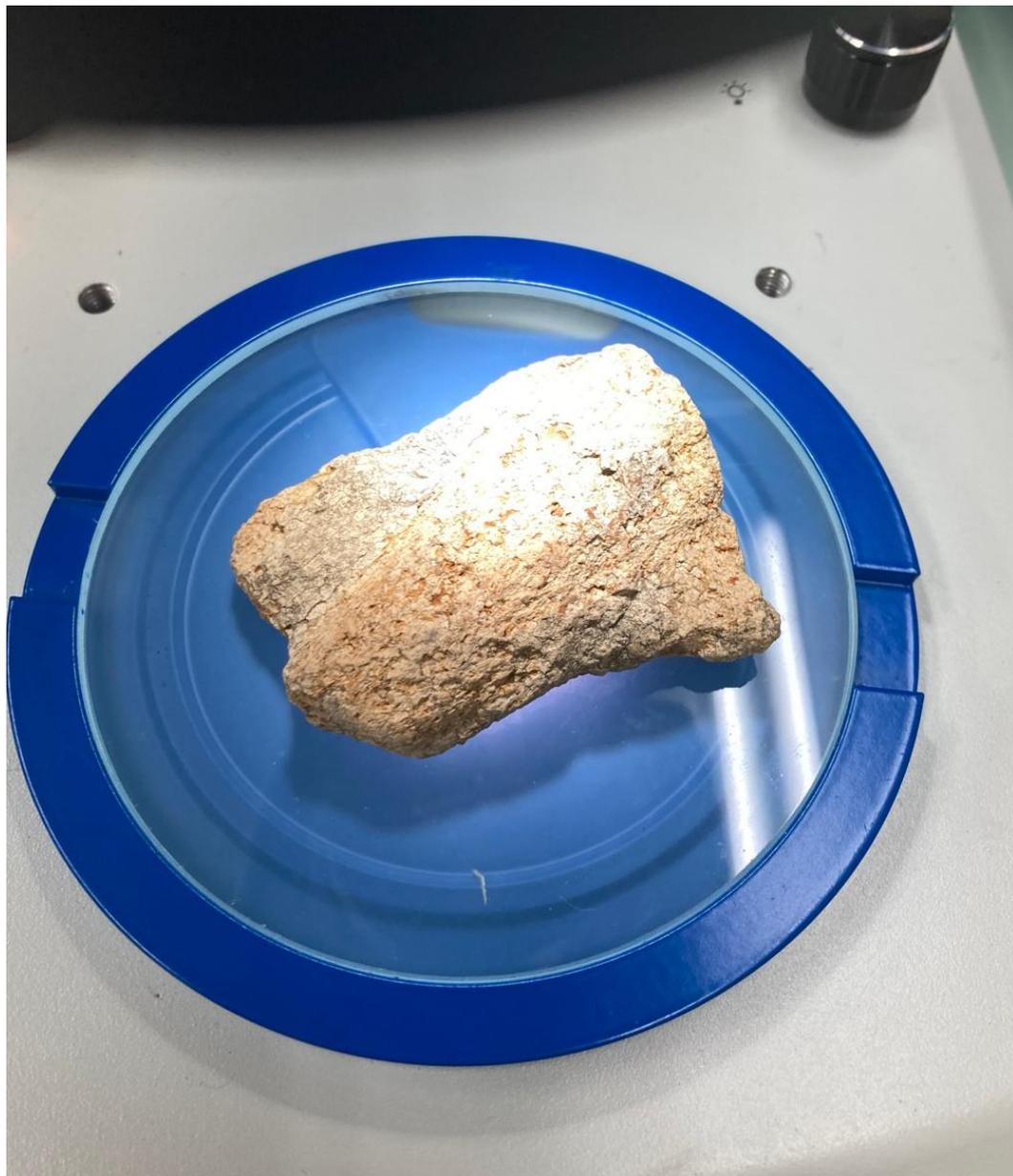
## 土器

色調：薄茶色

混和材：不明



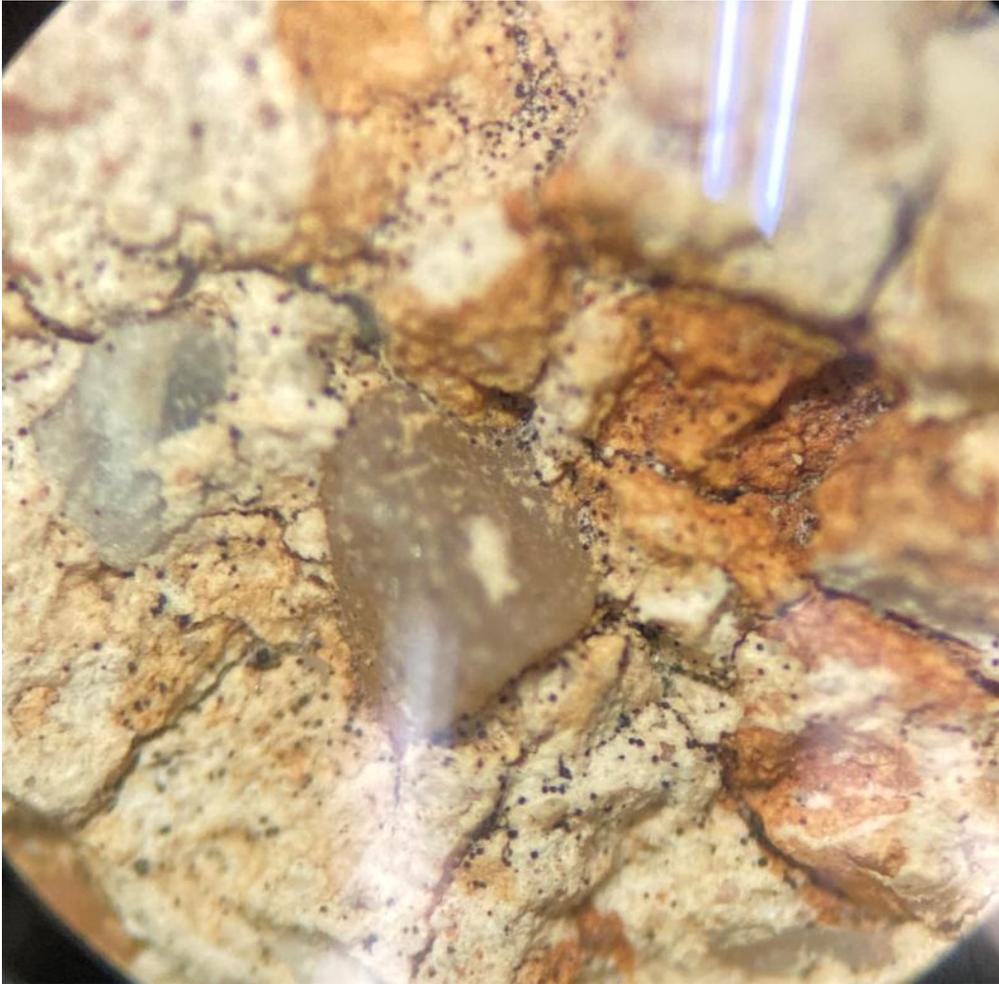
### Ⅲ. 胎土分析



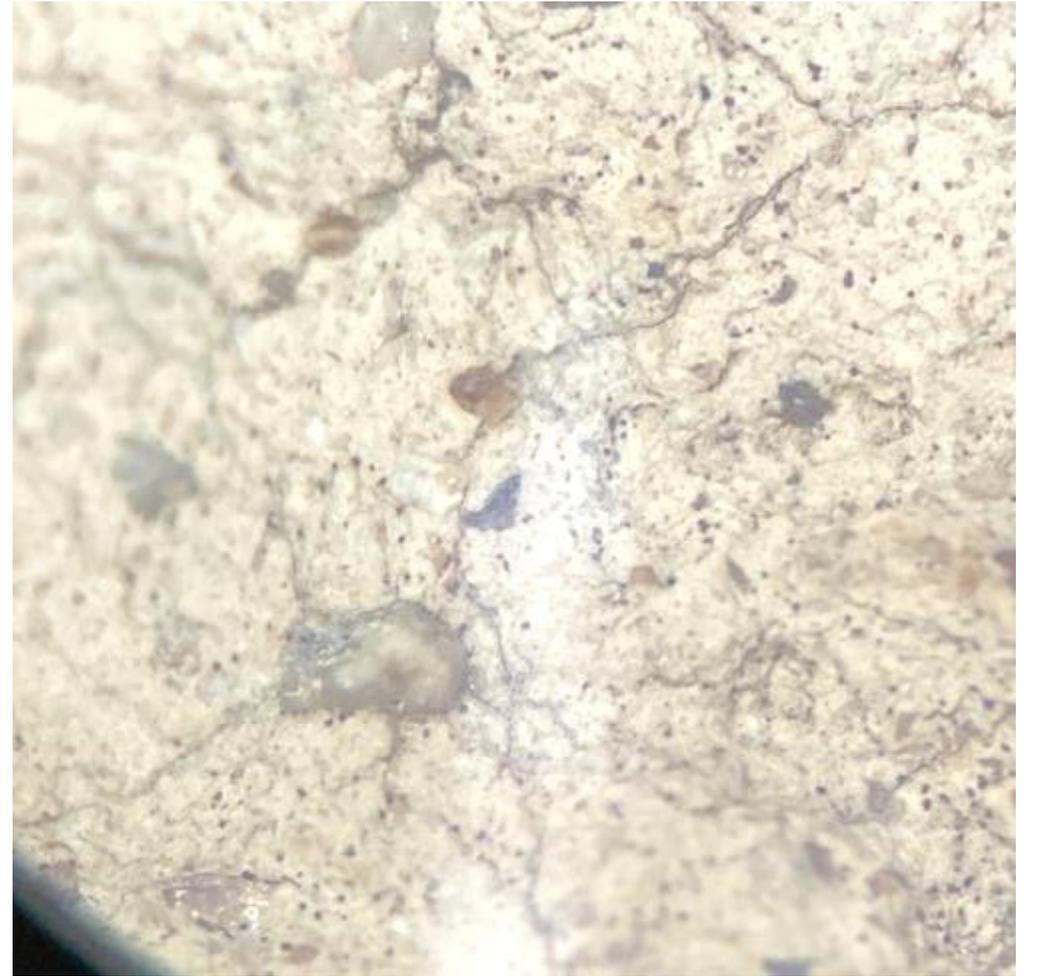
#### 〈調査方法〉

双眼実体顕微鏡を倍率40倍にし、  
埴輪表面の混和材の観察を行った。





桜色の無色鉱物



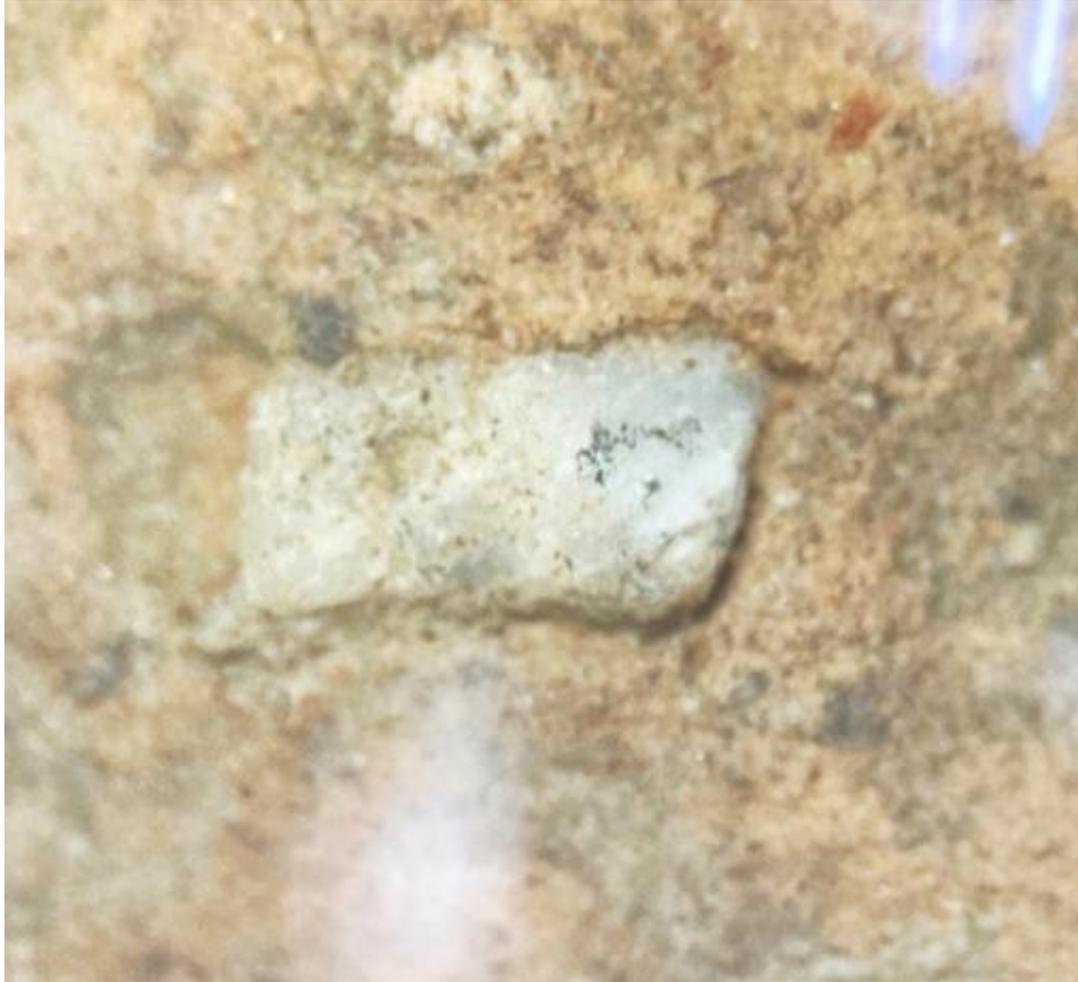
石英 雲母



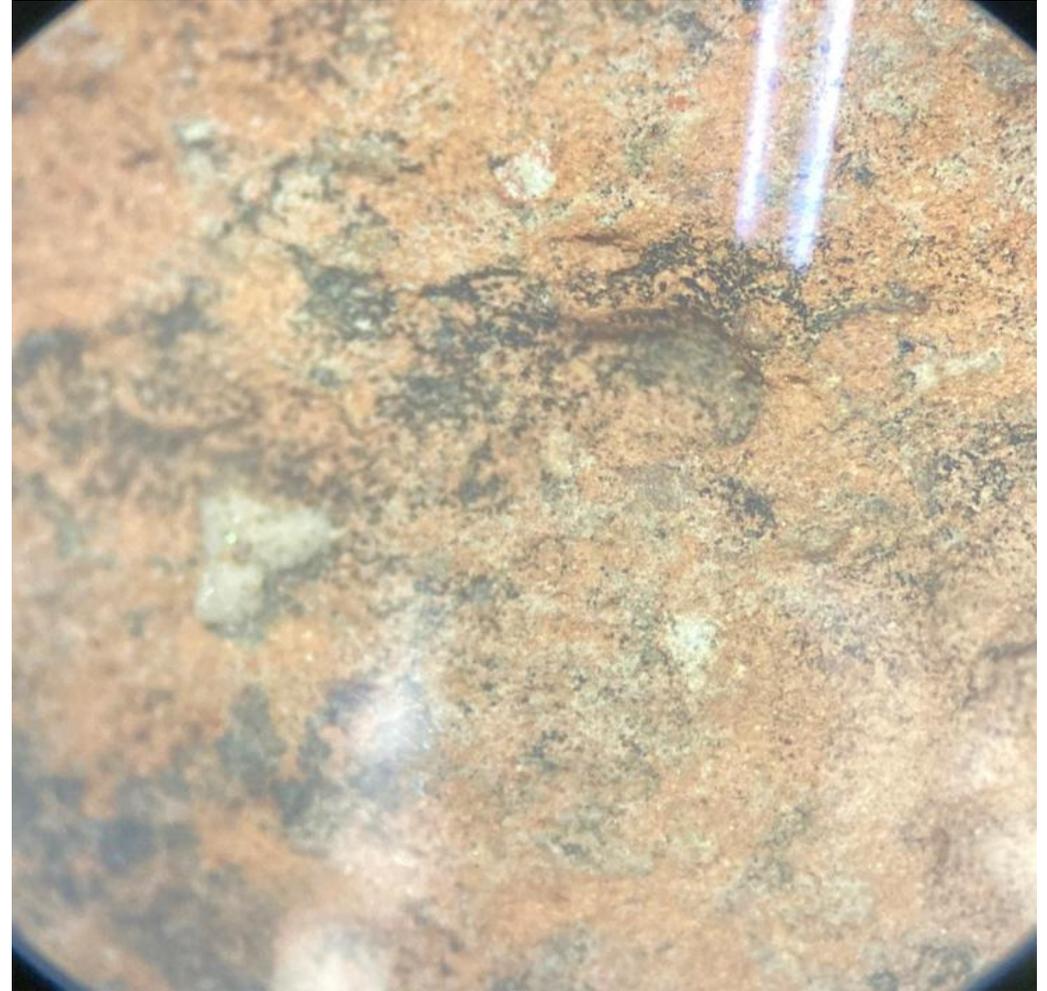
花崗岩



チャート

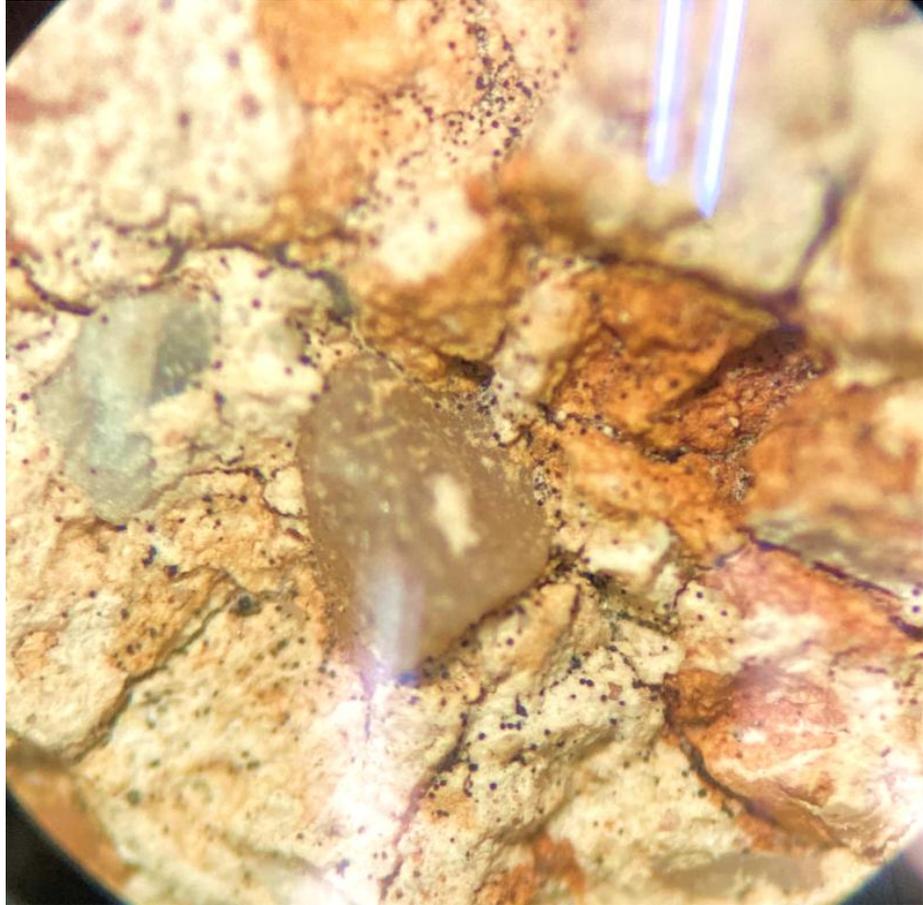


大粒の長石



石英 長石(⑩、⑪)

## IV. 考察

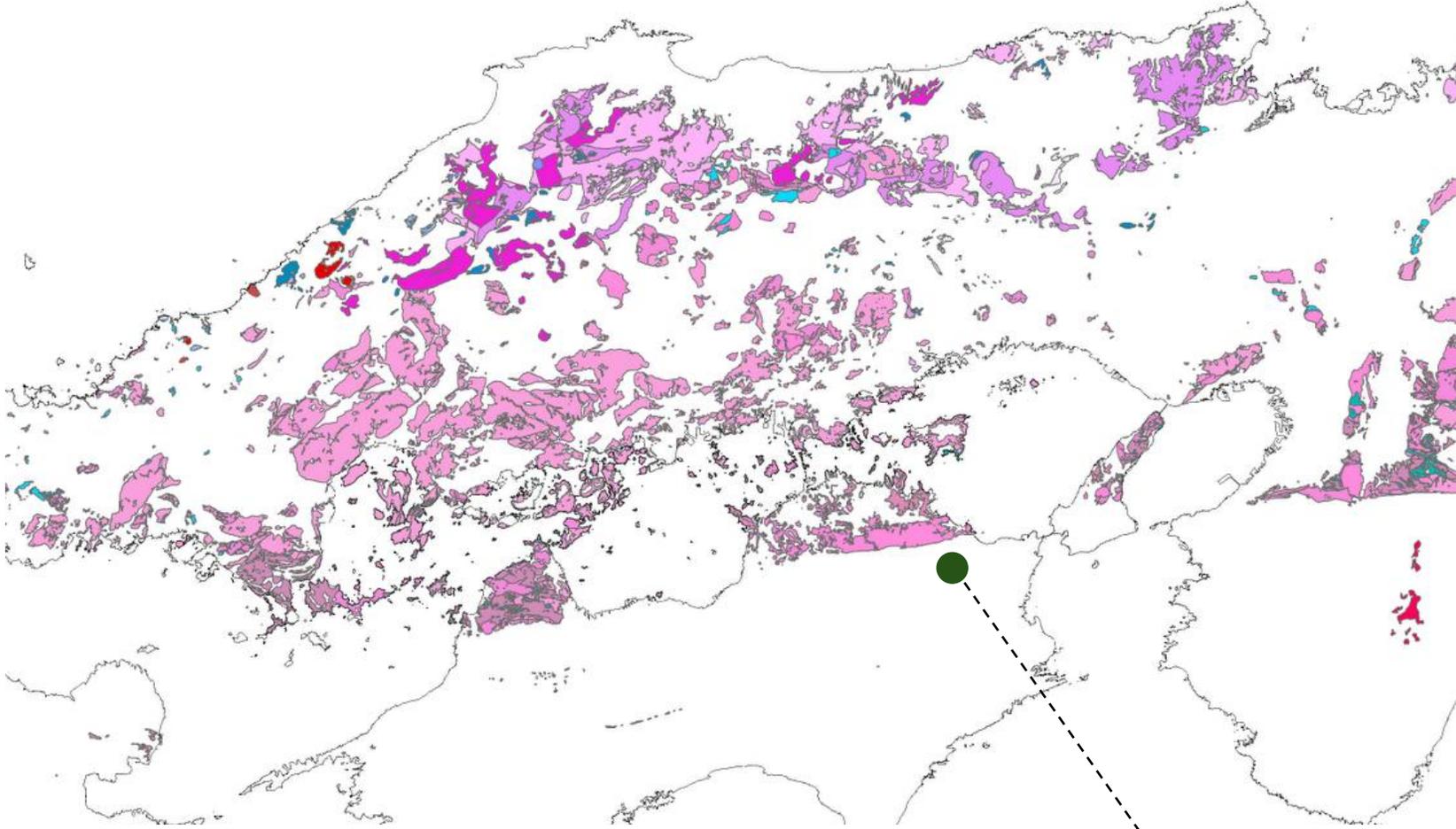


Aグループ 桜色の無色鉱物



万成石[岡山] 薄紅色のカリ長石

# IV. 考察



花崗岩分布図

(出典：ジオロジストの為のGIS入門)

土成丸山古墳



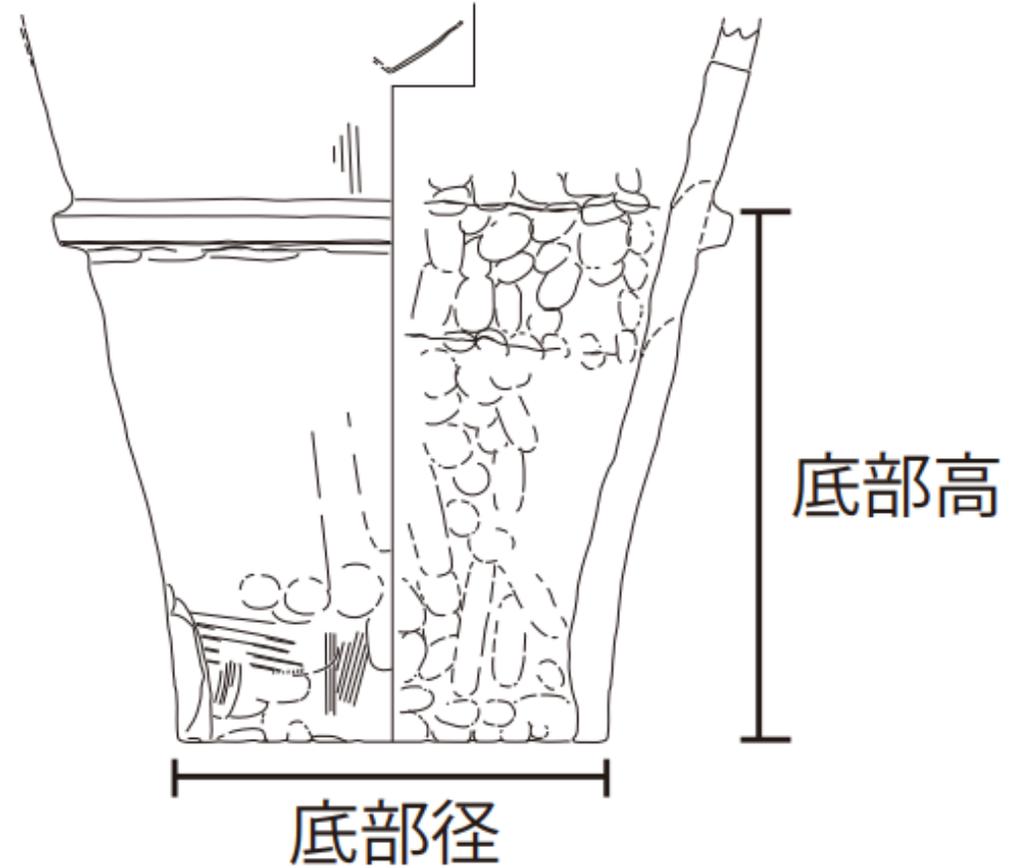
Bグループ  
花崗岩

讃岐の埴輪は古墳時代中期後半までは  
底部高が畿内規格と比べて高い傾向



香川の編年IV期と土成丸山古墳の埴輪  
の底部規格を比較

底部径 ÷ 底部高



## 埴輪底部規格比較表

## 【土成丸山古墳】

報告書番号	底部径 ÷ 底部高
⑤	1.60
⑥	1.55
⑮	1.86
平均	<u>1.67</u>

⑳	2.38
---	------

⑳は赤褐色で、在地の可能性が高いので除外

## 【香川Ⅳ期－1】

(丸山古墳、大塚古墳)

計5本	底部径 ÷ 底部高
平均	<u>1.666</u>

## 【香川Ⅳ期－2】

(中東古墳、盛土山古墳)

計4本	底部径 ÷ 底部高
平均	1.760

## 【香川Ⅳ期－3】

(中間西井坪3号墳、別宮北2号墳)

計18本	底部径 ÷ 底部高
平均	1.461

胴体 1 本の線で表現

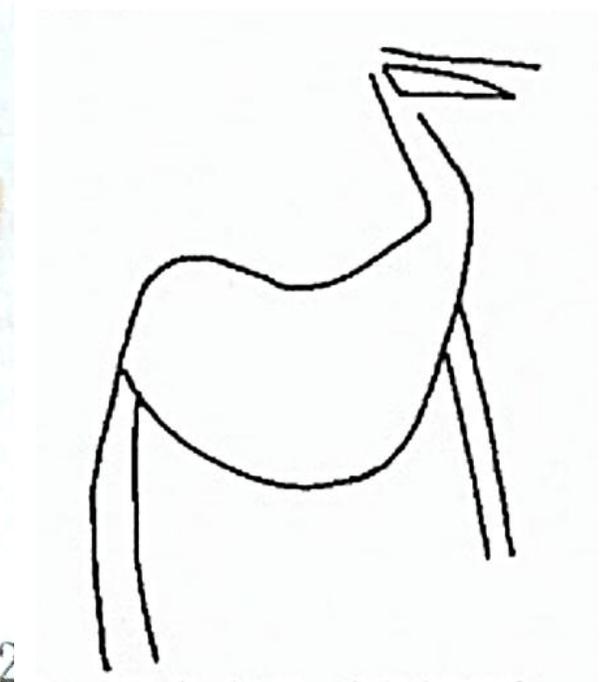


報告書⑱

胴体 2 本の線で表現  
腹側から足が生える



報告書㉘



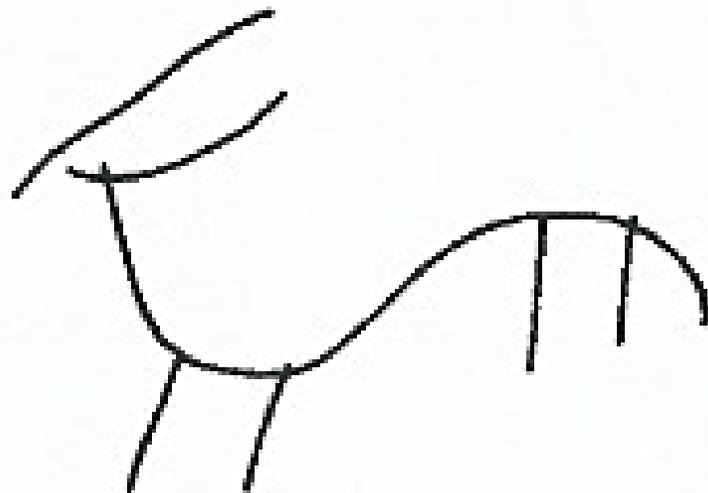
塚本古墳 [京都]

胴体 1 本の線で表現  
 腹側にも線があるが不明瞭  
 足は背中側から生えている

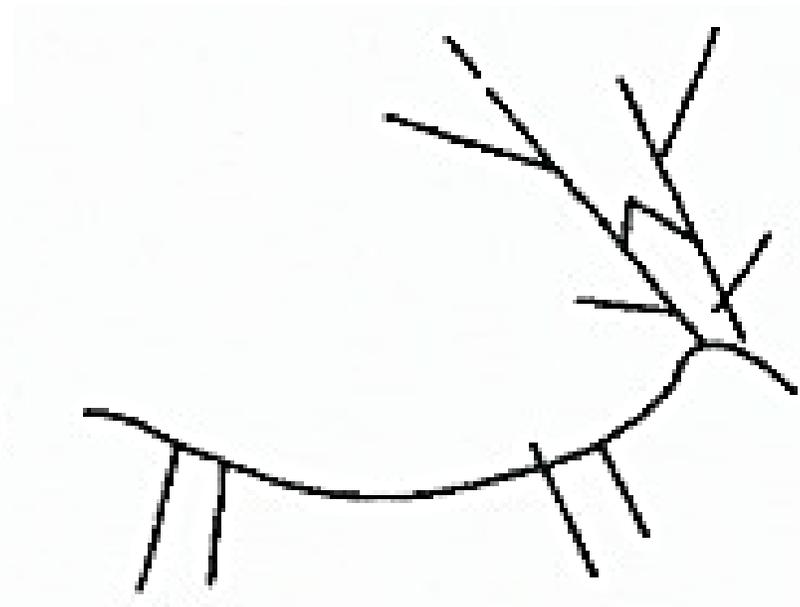


報告書⑱

胴体 1 本の線で表現



法伝山古墳 [岡山]



西の平古墳 [岡山]

## 〈尼塚古墳〉（消滅）

墳形	円墳
築造時期	5世紀中葉
墳丘直径	37m
墳丘高	削平され不明
周濠幅	内：3m 外：5m
埋葬主体	箱式石棺か
出土遺物	埴輪（円筒、朝顔形、家形）
所在地	鳴門市大津町字大代 平野部（東側）



## 〈力二塚古墳〉

墳形	円墳（2段築盛）
築造時期	5世紀中葉
墳丘直径	31m
墳丘高	3.4m
周濠幅	5m
埋葬主体	不明
出土遺物	埴輪（円筒、朝顔形） 瑪瑙製勾玉
所在地	鳴門市大津町字大代 平野部（西側）



## IV. 考察

### 〈尼塚・カニ塚古墳〉

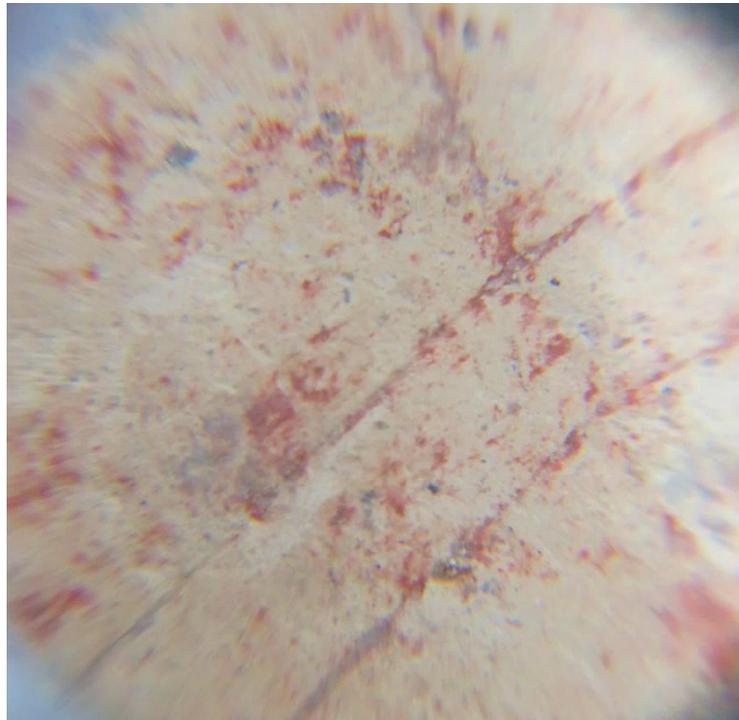
家形埴輪は赤褐色ではなく円筒埴輪と同色

土成丸山古墳と共通

シカの線刻は未確認



カニ塚出土 家形埴輪



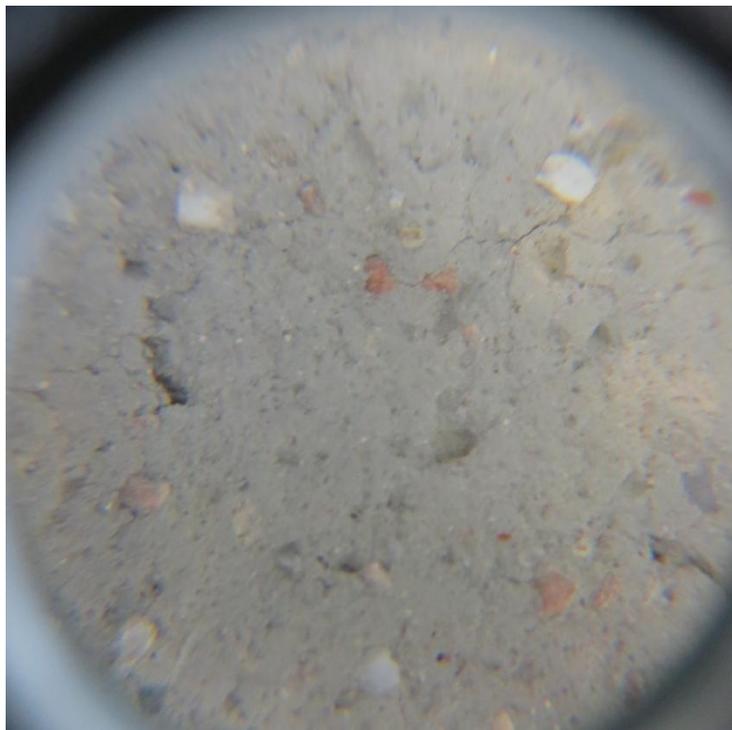
赤色顔料(ベンガラ)



「」のヘラ線刻

# 〈尼塚・カニ塚古墳〉

\* 顕微鏡ではなく倍率30倍のルーペで観察



赤色斑粒



長石



砂岩

## 〈青龍古墳〉

墳形	円墳（2段築盛）
築造時期	5世紀中葉
墳丘直径	42m
墳丘高	8m（地山削り出し）
周濠	2周 中世城郭遺構が重複
埋葬主体	不明
出土遺物	埴輪（円筒、家形） 須恵器
所在地	香川県善通寺市吉原町 尾根先端を利用

## 〈盛土山古墳〉

墳形	円墳（2段築盛）
築造時期	5世紀後葉
墳丘直径	43m
墳丘高	5.2m
周濠	2周で約17m
埋葬主体	箱式石棺
出土遺物	埴輪（円筒、盾形、蓋形、鞍形） 〔色調：橙色 混和材：石英、長石〕 画分帯四神四獣鏡、勾玉（6.7cm） 須恵器、鉄鏃、鉄剣、銅鈴
所在地	香川県仲多度郡多度津町奥白方 平野部



（出典：多度津町観光協会）

# IV. 考察

(左) 同時期古墳比較表  
(右) 関連古墳編年

系譜 時期	吉野川 下流域	吉野川 河口域	丸亀平野 (西部)
AD 430	土成丸山 (○40)	尼塚 (◎37)	
AD 440		カニ塚 (○31)	青龍 (◎42)
AD 460			盛土山 (◎43)

共通する部分はあるが、色調・  
混和材に一貫性はみられない

	土成丸山	尼塚	カニ塚	盛土山	青龍
埋葬施設	箱式石棺	箱式?	不明	箱式石棺	不明
周濠	○	◎	○	◎	◎
円筒	◎	◎	◎	◎	◎
朝顔	◎	◎	◎		
家形	○	○			○
盾形	○			○	
蓋形	○			○	
甲冑形	○				
色調	淡灰白色 黄褐色 赤褐色	灰白色 浅黄橙色	灰白色 浅黄橙色	橙色	
彩色	◎	◎	◎		
混和材	石英 長石 黒雲母 花崗岩 チャート	石英 長石 雲母 赤色斑粒 砂岩	石英 長石 雲母 赤色斑粒 砂岩	石英 長石	

\* ◎は複数の確認ができる

## IV. 考察

### カンゾウ 〈韓崇山古墳群〉(消滅)

墳形	円墳(11基)
築造時期	4～5世紀
埋葬主体	主に箱式石棺
出土遺物	鉄剣、人骨、須恵器 (埴輪、玉類の伝承)
所在地	板野郡板野町



(出典：板野郡誌)

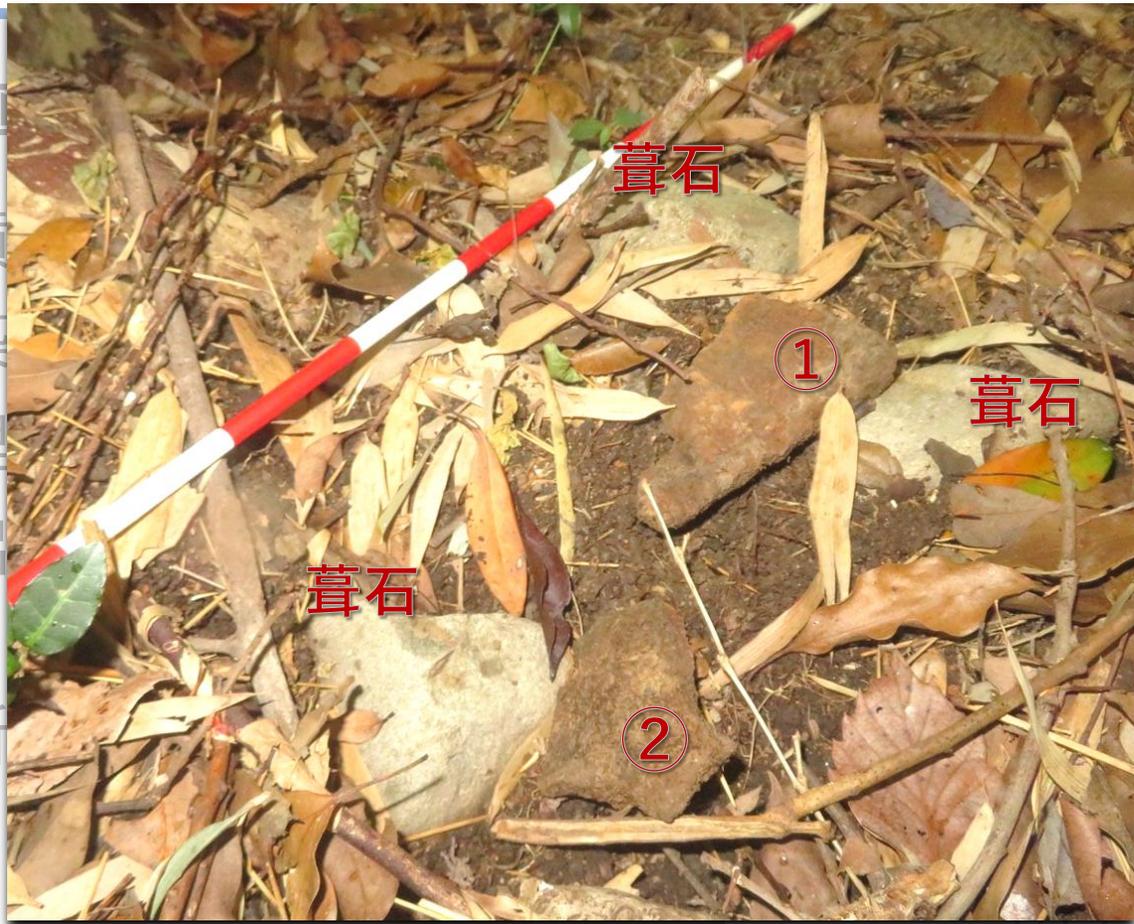
### 〈愛宕山古墳〉

墳形	前方後円墳 (2段築盛)
築造時期	4世紀後半
墳丘長	全長64m 後円部44m 前方部20m
墳丘高	詳細不明
埋葬主体	竪穴式石室 (東西主軸 6 m)
出土遺物	埴輪 (円筒、朝顔形、盾形) 銅鏃、鉄鏃、短甲片、鉄剣片 管玉、ガラス玉
所在地	板野郡板野町川端 丘陵上



# IV. 考察

《  
墳  
築  
埋  
出  
所



(出典：板野郡誌)

## 《愛宕山古墳》

前方後円墳 (2段築盛)

時期 4世紀後半  
長 全長64m



所在地

## 〈愛宕山古墳〉

① 円筒埴輪 胴部



② 円筒埴輪 胴部



③ 盾形埴輪？



## 愛宕山古墳 表採遺物

器種：円筒埴輪・盾形埴輪

色調：橙色（有黒斑）

混和材：石英 長石 金雲母

結晶片岩 角閃石

# 〈愛宕山古墳〉

\* 顕微鏡ではなく倍率30倍のルーペで観察



石英



長石



結晶片岩

## IV. 考察

吉野川北岸下流域・河口域の埴輪のうち

### 土成丸山古墳 築造以前



- ・胎土に結晶片岩を含む  
(含まないものもある)
- ・橙色系
- ・野焼き



### 土成丸山古墳 築造後



- ・胎土に結晶片岩を含まない
- ・白色系の登場
- ・窯焼き

土成丸山古墳の埴輪を画期とし、県内の埴輪の製作方法が変化

土成丸山古墳 出土埴輪のうち

円筒埴輪を中心とする A・Bグループ 》》 瀬戸内地方から供給

形象埴輪を中心とする Cグループ 》》 在地で製作



最先端の窯焼きの埴輪を県内でいち早く導入し、遠方からも埴輪を搬入していることから、土成丸山古墳の被葬者は前方後円墳築造停止というヤマト王権の統制下に於いても一定の権力を保持し続けていた。県内の影響力だけでなく、地域間交流の姿も見えてきた。

### 【今後の課題】

- ・科学的な胎土の成分分析
- ・瀬戸内地方の埴輪の胎土分析比較・底部規格比較
- ・何故、同じ生産地の埴輪で統一しなかったのか、..

ご清聴ありがとうございます  
ございました(\*^^\*)

本稿執筆にあたり、ご協力及びご助言いただきました公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの先生方に感謝申し上げます。

- ・天羽 利夫／岡山 真知子 1985『徳島県の遺跡散歩』徳島市立図書館
- ・天羽 利夫／岡山 真知子／武蔵 美和 1986「徳島県立博物館紀要第18集 土成丸山古墳調査報告」 徳島県立博物館
- ・阿波市教育委員会 2022「土成丸山古墳第7次調査現地説明会資料」
- ・石野 博信／岩崎 卓也／河上 邦彦／白石 太一郎 1992『古墳時代の研究9 古墳Ⅲ 埴輪』 雄山閣
- ・石野 博信／岩崎 卓也／河上 邦彦／白石 太一郎 1992『古墳時代の研究10 地域の古墳Ⅰ 西日本』 雄山閣
- ・岡崎 信夫 1926『板野郡誌』板野郡教育委員会
- ・菅原 康夫 1988『日本の古代遺跡37 徳島』 保育社
- ・多度津町教育委員会 2021「多度津町内遺跡発掘報告書3：盛土山古墳2 宿地古墳」多度津町教育委員会
- ・徳島県埋蔵文化財センター 2006「調査報告書66 尼塚古墳・カニ塚古墳 池谷宝童寺古墳 河辺寺跡 重清城跡 合蔵廃寺跡遺跡」 (財) 徳島県埋蔵文化財センター
- ・林 泰治 2010「土成丸山古墳発掘調査報告書」阿波市教育委員会
- ・林 泰治 2020「阿波市古墳調査報告書 土成丸山古墳 第5次調査概要報告書」阿波市教育委員会
- ・林 泰治 2021「阿波市古墳調査報告書 土成丸山古墳 第6次調査概要報告書」阿波市教育委員会
- ・廣瀬 常雄 1983『日本の古代遺跡8 香川』 保育社
- ・真鍋 貴匡 2023「香川県の古墳時代中期をさぐる」香川県埋蔵文化財センター

ご清聴ありがとうございます  
ございました(\*^^)